



2002年

9月1日

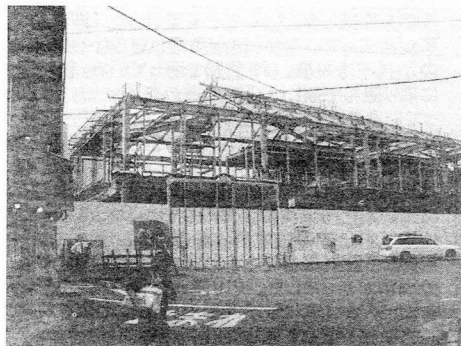
第12号

発行 相原まちづくり協議会

責任者 今村忠司

所在地 町田市相原町1241番地

電話 042 (774) 8705



相原駅周辺の 道路整備始まるか？

相原駅の西口前広場と駅前通りの事業決定に向けての説明会が8月28日に町田市から行われました。それによると、駅前広場は5,300平方メートル、道路は図のように、相原駅に向かう3・3・47号と3・3・49号（南北道路）です。市の計画では、来年から測量を始め、徐々に着工し、7年後に完成を考えています。

相原橋上駅舎が完成すると、人も車も西口に集中します。バスの乗り入れもできないようでは駅の利用価値が半減してしまいます。

昨年の市政懇談会で寺田市長は次のように回答しています。

西口に駅前広場を確保する。

町田街道から八王子方面へ向かう3・3・49号線を駅前西口に近い所まで施行し、そして横に相原駅に向かって3・4・47号線を施行する。

いずれにしても町田街道から相原駅西口まではどうしても行わなければならない。市有地を代替地として用意する形を取るしかないと思う。

区画整理につきましては、いずれ地元の皆様と個々に話を詰めることとなりますが、相当

時間がかかる。心配は、道路が出来たら区画整理は必要ないと言われては困る。ということで8月28日に事業決定するための説明会が開かれました。

お詫び

相原まちづくり協議会では年4回の「あいとぴあ」の発行をめざしていますが、第5回まちづくり講演会の後、連続5回の市民講座を開催するなど、秋の行事が盛りだくさんであったため第12号の発行がこの時期になってしまいました。紙面にて深くお詫び申し上げます。

なお、同時に第13号を発行しました。引き続きご愛読くださいますようお願い申し上げます。

10月20日(日)に上野動物園長 菅谷 博氏の講演会を開催します！

毎年恒例になっています相原まちづくり協議会主催の第5回まちづくり講演会を、下記のとおり開催します。今回は、講師に恩賜上野動物園長の菅谷 博氏に動物のお話をして頂きます。菅谷博氏は相原町の元橋町会にながくお住まいです。

色々な動物のお話・動物との接し方等々の『おもしろ話』が楽しみです。

特に、小学生のみなさんに、保護者の方とご一緒にご来場いただければと企画しました。

大勢のみなさんのご参加をお待ちしています。

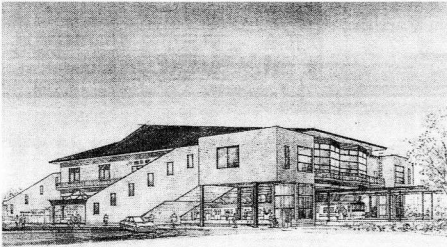
日時：平成14年10月20日(日)午後1時より

場所：堺市民センター 2階ホール

講師：恩賜上野動物園長の菅谷 博氏

無料です。

駅舎の工事は順調に進んでいます



内壁材は「ステンド」という化粧の珪酸カルシウム板。床は「テクノプレート」という合成タイル。階段は「テラゾー」(人造石)でノンスリップ付きとの説明がありました。

去る6月5日(水)に町田市役所建設総務課より、駅舎の色等についての提案がありました。地元の代表として、相原地区連合町内会の役員と相原まちづくり協議会の役員が出席しました。「外壁」については、セメント系の中空押出成形材(ラムダサイディング)に、木質感を出すために木の模様(柾目調)がペイントされています。表面は汚れ等の処理がしやすいように「コーティング処理」がされ、若干光沢があるものでした。「丸太」を意識した感じで、表面は少し丸みがあり、他の駅舎ではあまり見かけない、特徴のある外壁で、出席者全員「良い感じ」との評価で、異議等は出ませんでした。

「屋根」については、フッソ樹脂加工の長尺鋼板葺で、色は「ダークオリーブ」が提案されました。この「ダークオリーブ」は、室内で見るとかなり「黒」に近い色でした。出席者より、「もう少し明るい色の方が良いのではないか」との意見が出ました。サンプルの中で、「グリーン」に近い「カッパー」(緑錆色)の方が良いとの意見が大半でした。又、相原駅舎のパスを見て、“屋根が黒い色だと重い感じがする”との意見が駅利用者より、今村理事長宛に数通のFAXが寄せられていることを行政側に伝えました。

その結果、地元の意見としては、屋根の色は「カッパー」(緑錆色)ということで、JRに報告するということになりました。現在まだ確定はしていませんが、地元の要望に添うよう調整中とのことです。

まちづくり協議会の総会が開かれました

相原まちづくり協議会は、5月26日、中相原会館で平成13年度定期総会を開きました。総会は理事

・監査のほか、各町会・自治会から2名の代議員が出席しました。

総会は今村忠司理事長から「相原駅舎の工事が始まり、中央公園も具体的な提案が、今年中にあります。大戸には、介護支援センターが予定されています。子どもセンター、堺中の体育館の新築などが計画されています。これらを、みなさんご協力の良いものにしていきたい」との挨拶のあと、協議に入りました。

平成13年度の活動報告、平成13年度の収支決算報告、平成14年度活動方針、平成14年度収支予算を協議しました。主な質疑として「駅舎の工事が始まっているが、区画整理はどうなっているのか」「不法投棄、ゴミ問題で困っている。積極的に取り組んで欲しい」「下水道の整備状況はどうなっているのか」などがありました。区画整理については、伊藤将史・相原まちづくり相談所長から「相原の区画整理事業はまだ何も決まっています。

区画整理をしようという提案の状況です。具体的に詰めるため現況の測量をしているのが、今の段階です。事業すすめる場合は、みなさんと十分協議して設計図書をつくっていくことになります」との説明がありました。提出議案は原案通り決定しました。

来賓挨拶として青木豊(財)相原保養会理事長、津田進・相原連合町会(会長代理として)、市会議員の八木邦治、伊藤泰人の2氏、伊藤将史・相原まちづくり相談所長、井上春雄・町田市青少年健全育成相原地区委員会会長からそれぞれありました。

地域発展のため各部門で活動しています

相原まちづくり協議会の各部門での活動報告は以下の通りです。

<相原駅>

昨年12月15日に駅舎工事が始まり、5月25日から仮駅舎を使うようになりました。相原駅舎工事の特徴は行政側が「地元住民の要望」を最大限聞き入れてくれたことです。平成10年に、相原駅の利用者を対象にアンケート調査を実施し、駅舎デザインの要望を行政に持ち込みました。その結果、「入母屋造り風」のユニークな屋根のデザインになりました。駅のエスカレーターは当初、登りだけでしたが、われわれの要望で下りも付けることになりました。駅舎の色合いについても、行政側が一方的に決めるのではなく、われわれと話し合い、屋根や外壁の色が決定しました。

<区画整理>

平成13年度は区画整理としては大きな進展はありませんでした。工事用道路ができ、駅の橋上化工事が着工され、区画整理への関心は強まってきました。中村地区では行政(市の区画整理担当)の伊藤部長に参加を願って話し合いの機会を設けました。話し合いでは、不安の解消方法や

区画整理で町をどのようにしたら住みやすいかなどの意見交換ができました。測量についても、93%が済んでいることが確認されました。また、駅の橋上化工事にもない、駅舎完成後の道路の問題については地域の人たちと話し合っていくたいとのことでした。駅舎完成後、駅前の交通量も増えますので、区画整理について、話し合っていきます。

相原連合町会をはじめ、各子供会、各PTA、グランド運営委員会、町田市青少年健全育成相原地区委員会、まちづくり協議会で構成しています。細長いこのまちに、総合型の「ばあん」タイプ館でよいのか、3地区に分ける分館方式がよいのか、なども含めて相原らしい運営ができる体制やアイデア・センターづくりを具体化するようすすめていきたいものです。

<相原子どもセンター>

相原に「子どもセンターを！」と活動を始めて3年を迎えました。準備委員会から誘致委員会を正式に立ち上げました。各団体に呼びかけ相原町をあげての体制で活動を開始しました。

<相原中央公園>

中央公園は相原住民の30年近い思いがやっと実現しようとしています。市予算もつきました。当初計画は11割でしたが、現在15.7割になりました。実施計画がまもなく、提案される段階に入っています。まちづくり協議会では「相原中央公園建設促進委員会」に2人の理事が参加しています。計画の概要は、多目的に使用できる競技場、テニス・ゲートボール・子ども遊び広場などが出来ます。四季折々の草花で楽しめる遊歩道、イベント広場などが計画されています。今後、多くの人の意見を反映して、よりよい相原中央公園の建設を目指していきます。また、公園の管理・整備をする組織として「相原さとやまの会」をNPOとして立ち上げました。

<相原JAO会>

定年退職者などが、これまで培われた特技や技術・技能を生かしながら、地域の人たちの交流の場になればと組織したのがJAO会です。結成して3年たちますが、まず、竹炭に取り組みました。竹炭の技術が向上して、良い炭ができるようになりました。大地沢祭りや他のイベントで販売しています。炭焼きの場所は大地沢でやってきましたが、新しい場所に移転しなければならなくなりました。中央公園の一画でできなかと、検討中です。次にはシイタケ、ヒラタケを、試験的に取り組んでいます。メンバーは35名です。

<相原を学ぶ塊>

相原について学びたい有志が集まり、この会が発足して3年目を迎えました。毎月1回定例会を開き、自然環境、歴史、地誌などについて学習していきます。旧道・河川・わき水、神社仏閣、道端の石仏

などを対象に調べながら歴史散策を主に、時には資料の検討会などを交えて活動しています。会員行っています。新会員を歓迎します。は20数名です。6月から毎月第2火曜日午後1時30分から相原まちづくり相談所(サイゼリヤ横)で<SLB会>ソルボ会とよみます。

活動内容は「絵てがみ」を毎月第4木曜日午後1時30分からまちづくり相談所でやっています。絵を描いたことのない人でも、いい絵が描けたと喜んでいる人もいます。興味のある人は、参加して下さい。

花壇コンクール入賞者決まる

花いっぱい運動に取り組んでいる「花の町相原推進委員会」(齊藤賢司委員長)は「平成14年度花壇コンクール」を6月29日に実施しました。各自治会の推薦のもとに24の参加者がありました。審査の結果、以下の方が入選しました。表彰は10月20日に堺市民センターでの相原まちづくり協議会主催の講演会で行います。

<平成14年度入賞者>(敬称略)

伊藤靖雄(大戸)、吉野諭(中原)、
吉川稔(中原) 土井弘子(丸山団地)、
上原博(元橋)

<特別賞> 八木文典(大戸)、礼元国広(中村)、
田中佳行(境)

相原あちこち音

七国峠 (ななくにとうげ)

相原十字路から少し北進し、中華料理店わきを右折すると、路傍に「鎌倉古道」の標識があります。ここから藪の中の小道にはいり小さな峠や車道を横切り、さらに進むと、林の中を掘割り状の道筋になります。ここが「七国峠道」で、古代から多摩の横山を越える重要な交通路でした。

峠の最高付近には大日堂や出羽三山供養塔があります。今は木立にさえぎられ、展望はありませんが、かつては、武蔵・相模・安房・常陸・下野・伊豆・駿河の七つの国が見渡せるので、「七国峠」と名づけられ茶店も数軒あったとか。さらに北へ歩くと、突然に道が途切れ、眼前にニュータウン造成の工事現場が広がっています。30年ほど前までは、丘陵上に木々の緑におおわれた数条の古道があり、「名勝七国峠」の碑や数多くの石仏を巡って、静かに散策を楽しめました。すべて開発の波にのまれて消失してしまいました。はるか遠く狭山丘陵に西武ドームの屋根が白く光っています。

相原に残された(置き忘れられた?)「七国峠道」の遺構は、私たちの貴重な財産です。

(相原を学ぶ塊)

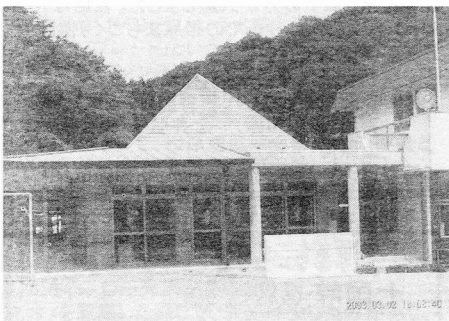
傘 ありがとう

相原駅に「かえる傘」を設置して以来、早いもので2年が経過しました。多くの方々のご協力により継続されています。「こころ豊かなまちづくり」の一環として今後も続けてゆきたいと考えております。紙面にてお礼申し上げます。

引き続き傘 募集中!

相原まちづくり相談所(元いなげや駐車場)で受付をしています。ご不要の傘がございましたらご寄贈ください。毎週火・水・木曜日

相原幼稚園に新しい園舎が できました



相原子どもセンター 誘致委員会からの報告

相原に子どもセンターをとの願いで活動を開始して2年目に入りました

先日の町田市議会だよりに地元議員の質問に対し相原に三号館を検討したいとの寺田市長の答弁が記載されております。

誘致委員会では相原の11子供会の母親との話し合いを各地区に出張し、7月末時点で坂下、陽田、仲村、中村、中相原各子ども会のご意見要望を採集しております。話し合いの結果を基に中間の時点で、「相原地区青少年健全育成環境整備その1」として市教育委員会と協議に入る所存です。詳細はまもなく発行される健全育成広報「おおちざわ」の載ります。相原全体を考え大沢青少年センター、相原子どもセンター、相原中央スポーツ広場、動的あそび館、相原子どもセンター2が中心になります。

堺中新体育館等の新築改修等将来計画をも考慮して、体育音楽、野外イベント、自然観察、知的文化的あそび、等々育児から中高校生の文化活動まで、相原の子どものための施設を構築したいと考えております。その第一歩の子どもセンター誘致で

す。皆様の積極的なご支援で実現しましょう。

相原で「ショック」をテーマに市民講座開きます

「相原地域市民講座」を堺市民センターで、11月に5回にわたり「ショック」をテーマで開きます。

これは、地域活性化のために地域の申請をもとに、市の公民館活動の一つとして行われるものです。今回は、相原町の有志を運営委員として実施します。テーマの「ショック」は、相原の特徴を生かした「まちづくり」をめざしたものです。つまり、各講師をもとに、食べる「食」、飾る「飾」、触れ合いの「触」、職業の「職」などをテーマにした住みよい相原のまちづくりをどうしたらよいかを学習するものです。最後に相原の提案をまとめます。

講座は11月の2日、6日、16日、22日、29日の5回です。時間は午後7時30分からです。

この講座に参加する人は、往復はがきで町田市公民館に申し込みます。原則として5回連続して出席することを希望しています。町田市広報参照

相原町に三つのNPO

相原に新しいNPO里山の会が東京都より認証され、相原町のNPOが3法人となりました。NPO「夢連」では新年度の活動としてエコ・ミュージアム(屋根のない博物館)運動の実践と都指定有形文化財「青木家住宅」の庭園の清掃、裏山の整美等を継続的に活動しています。

NPO「やまゆり会」は毎月お年寄りとの昼食会を開催し、町田市による介護センター早期建設を待っています。NPO 相原さとやまの会は中央公園の桜の丘の草刈から具体的に活動しています。

編集後記

暑さも遠のき涼しい(寒いくらい)日が続いています。相原まちづくり協議会も、「駅舎工事」中央公園「子どもセンター」等々やらなければならないことが山積していて、パテ気味です。そんな中での今回の「あいとびあ 12号」の発行です。「継続することが大事」と気合いを入れて頑張っています。

相原では、駅舎工事が進んできて、道路の問題等大きく変わろうとしています。こんな時にこそ、地域の声をしっかりと捉え、「発言」・「行動」しなければと考えています。皆様のご意見・ご提言等どしどしとお寄せ下さい。

(今、島、横、須、友、土)

「あいとびあ」は、夢連ホームページでもご覧になれます。

(Yahoo!で「夢連」と入力してください。)